

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】インクルーシブ教育の理念と動向(新課題)

クラスCD	ハ-110	開講日・定員	6/27(土)・50名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	インクルーシブ教育の理念と動向	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	荒川 智 (あらかわ さとし)	所 属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	1)インクルーシブ教育の基本的な理念と動向について解説する。 2)障害者権利条約の教育条項と文科省のインクルーシブ教育システムについて検討する。 3)インクルーシブ教育や合理的配慮に関わる先駆的な実践について検討する。 4)インクルーシブ教育の観点から現行特別支援教育の制度・政策を検討する。 5)認定のための小論:講義の内容と自分の考えをまとめる。		
到達目標	1)インクルーシブ教育の基本的な考え方について理解し、周囲にわかりやすく説明できる。 2)インクルーシブ教育の構築に向けて、どのような実践ができるか考える。		
受講者への 事前連絡事項	適宜プリントを配布。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】幼児教育の可能性を探る(新課題)

※この講習を受講する方は同名の講習科目を含む講習を受講できません。

クラスCD	ハ-111	開講日・定員	6/27(土)・60名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	幼児教育の可能性を探る	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	生越 達(おごせ とおる)	所 属	大学院教育学研究科
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>幼児教育を発達の高いスパンのなかでとらえなおし、これから求められる幼児教育の可能性について検討する。単なる講義ではなく演習を取り入れた講習にしたい。午前中の授業では、思春期に現れる問題行動の理解をとおして、幼児期に何を大切にしなければいけないのかを考える。午後の授業では、具体的な保育事例や保育記録を検討することにより、どのような実践が求められているのかを考える。</p> <p>(1)教師に求められる子どもを社会化する眼差しとその限界 (2)いい子の危険と自尊心を育てることの大切さ (3)子どもの攻撃性や移行対象物について考える (4)保育にとって環境とは何か (5)親であることの難しさ:保護者支援について考える。 (6)認定試験:講義した内容を確認する。</p>		
到達目標	<p>(1)思春期までの子どもの成長を見通すことによって、保育において何を大切にしたらいいのかを理解する。 (2)子どもや保護者を表面的に理解するのではなく、深く理解できるようになる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	適宜プリントを配布します。一部演習方式の授業を含みます。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】電子メディアの教育活用(新課題)

クラスCD	ハ-112	開講日・定員	6/27(土)・50名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	電子メディアの教育活用	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	菅谷 克行 (すがや かつゆき)	所属	人文社会科学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭	担当時間	6時間
講習内容	インターネット上で流通しているデータ・情報・コンテンツやパソコン・スマートフォンなどの電子メディアを教育の場で活用する方法について、講義・グループワーク・対話を交えながら受講者全員で考えることを目的とする。特に電子メディアの特徴(明・暗の両面)を理解することに意識を向けながら、メディア論や教育工学の視点で議論を展開したい。題材としては、近年の電子メディア環境の動向や事例として、電子書籍、SNS、AR、VR、AI、IoT、Society5.0などを取り上げる予定である。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メディアの特徴を複眼的に理解できる ・電子メディアを教育で活用する方法について考案できる 		
受講者への 事前連絡事項	特になし		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】城下町・水戸の地理・歴史を学ぶ(新展開)

※この講習を受講する方は同名の講習科目を含む講習を受講できません。

クラスCD	ニ-105	開講日・定員	6/27(土)・50名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	城下町・水戸の地理・歴史を学ぶ	講習の形態	午前は講義、午後は巡検
担当講師名(ふりがな)	小野寺 淳 (おのでら あつし) 田中 耕市 (たなか こういち)	所 属	教育学部 人文社会科学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(社会・地歴)	担当時間	6時間
講習内容	午前中は、小学校「身近な地域の学習」、中学校社会科「地域調査の具体的な活動」、高等学校地理「地域調査の方法」に活用できるよう、水戸城下町の成り立ちと特色、城下の城郭や堀などの構造、武家地や町人地の土地区画などについて、小野寺が詳しく講義する。午後は、実際に大工町から弘道館まで歩きながら、小野寺と田中が水戸中心市街地の変化を具体的に解説する。		
到達目標	勤務校の授業等で活用できる基礎的な知識と調査方法を習得できる。		
受講者への 事前連絡事項	小雨程度であれば実施。水分補給の飲み物持参、2時間半程度歩くため歩きやすい靴を着用下さい。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】解析学のトピックから/幾何学の話題から(新展開)

クラスCD	ニ-106	開講日・定員	6/27(土)・50名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス

講習科目名	解析学のトピックから	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	梅津 健一郎 (うめづ けんいちろう)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	中・高教諭(数学)	担当時間	3時間

講習内容	解析学の基本概念である「変化の割合」に関するトピックを取り上げる。すぐに役立つ事柄というよりも、解析学における基本概念を再訪して、それぞれの有機的なつながりや発展を確認する。		
------	---	--	--

到達目標	微積分の基本的な概念を自らの言葉で再構築できる。		
------	--------------------------	--	--

受講者への 事前連絡事項	ノート, 筆記具を持参してください。テキストは使用しません。事前に下記の単元を再確認しておいてください。 1次関数と変化の割合(中2); 関数 $y=ax^2$ の変化の割合(中3); 微分係数と導関数(数学II)		
-----------------	--	--	--

成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		(備考)
	<input type="checkbox"/> その他		(備考)
(備考)			

講習科目名	幾何学の話題から	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	栗原 博之 (くりはら ひろゆき)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	中・高教諭(数学)	担当時間	3時間

講習内容	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中に潜む図形とその性質について、調べることを目的とする。 閉じている曲線の幅を定義し、幅が一定の閉曲線について調べる。具体的に定規, コンパスを用いて作図を行う。 		
------	---	--	--

到達目標	作図をするため, 定規, コンパスを持参してきて下さい。		
------	------------------------------	--	--

受講者への 事前連絡事項	<ul style="list-style-type: none"> 板書を写すため、ノート、筆記用具を持参してきて下さい。 作図をするため、定規、コンパスを持参してきて下さい。 		
-----------------	---	--	--

成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		(備考)
	<input type="checkbox"/> その他		(備考)
(備考)			

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】バレーボールの学習指導/柔道の学習指導(新展開)

クラスCD	ニ-107	開講日・定員	6/27(土)・30名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	バレーボールの学習指導	講習の形態	演習
担当講師名(ふりがな)	勝本 真 (かつもと まこと)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(保健体育)	担当時間	3時間
講習内容	<p>・ソフトバレーボールに関する「体づくり運動」や児童・生徒の技能に合わせた練習方法など、授業で活用できる教材を紹介する。それとともに、ボール運動における重要な運動感覚の習得を解説し、体験してもらおう。</p> <p>・グループ活動を中心とした実技であり、観察しながらお互いを指導する形式で行う。</p>		
到達目標	<p>・ソフトバレーボールの特徴を理解し、それらの学習指導方法を立案でき、様々な観点で指導できるようになる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>・運動ができる服装、体育館シューズを準備する</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)
講習科目名	柔道の学習指導	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	中嶋 哲也 (なかじま てつや)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(保健体育)	担当時間	3時間
講習内容	<p>・新学習指導要領では中学校保健体育の必修教材として武道は伝統を学ぶ機会として期待されている。本講習では、柔道の礼法の歴史を概観し、その所作・目的等の変遷を追いながら、武道の伝統にどのような意義があるのかを考える機会にしたい。</p> <p>・新学習指導要領にある「相手の動きに応じる」方法として技そのものではなく、「崩し」という基本動作の視点から把握する。</p>		
到達目標	<p>・礼法の歴史を理解すること。</p> <p>・崩しの理が技のどこにどこに見られるかを理解できるようになること。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>新学習指導要領の内容を確認しておいてください。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)